



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R4.2.9 No.59



〇 ふるさとの日(2月7日) 福井県の誕生日

明治14(1881)年、福井県が設置されました。今年で、誕生して141年になります。

現在の福井県は、昔、越前国と若狭国と呼ばれていました。

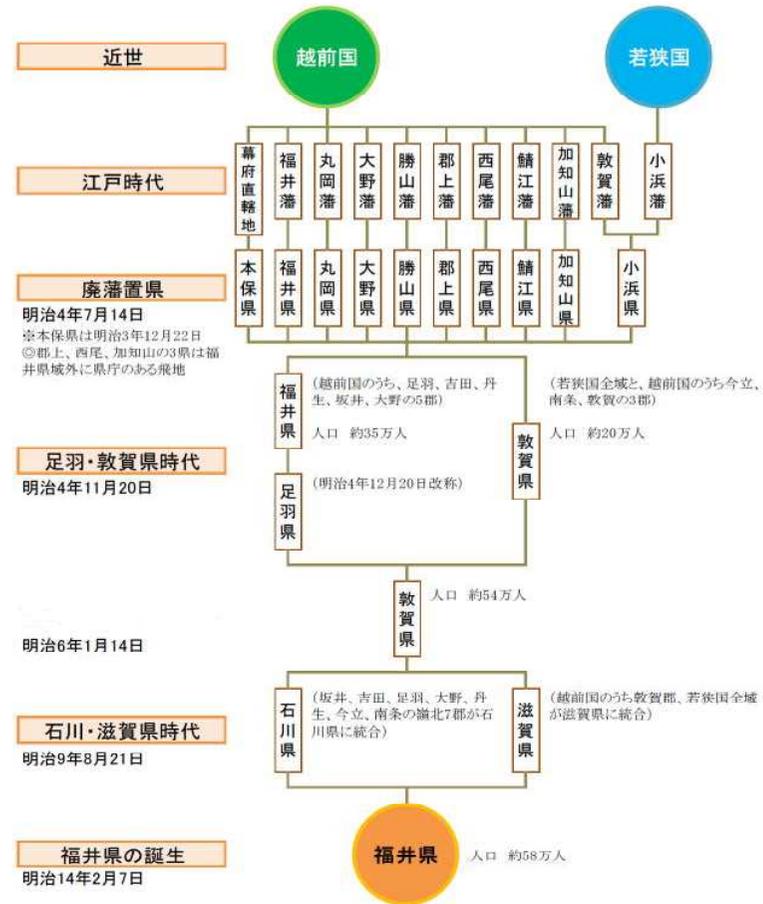
江戸時代には藩政が敷かれ、幕府の直轄地(天領)と各藩の領地に分かれていましたが、江戸幕府が滅び、明治4(1871)年に廃藩置県が行われました。

その後、福井県(のちに足羽県)と敦賀県が誕生し、明治6(1873)年には、それらが統合され、敦賀県が誕生しました。しかし、敦賀県は、明治9(1876)年に石川県と滋賀県に統合され、無くなってしまいました。(南条郡は、石川県でした。)

明治14(1881)年に、石川県から坂井・吉田・足羽・大野・丹生・今立・南条郡が、滋賀県から敦賀・三方・遠敷・大飯郡が分離され、福井県が誕生しました。誕生当時の人口は、約58万人でした。

現在の人口は75万8567人(2022年1月1日、全国43位)で、人口が一番多かった、2000年8月の83万2511人をピークに減少し続けています。

福井県では2月7日を「ふるさとの日」と定め、県民一人一人が自らの郷土についての理解と関心を深め、より豊かな郷土を築き上げることを期する日とし、毎年ふるさとの日を中心に関連行事を開催しています。(今年は、コロナで中止) 本校の給食では、羽二重餅が出されました。



〇 おもちゃランド (1・2年生)

2月2日(水)に2年2組と1年2組が、2月4日(金)に2年1組と1年1組が、おもちゃランドを行いました。2年生が1年生のために、どうしたら楽しんでもらえるかを考えながら作ったおもちゃで、一生懸命におもてなしをしました。また、先輩らしい頼もしい姿を見せることができました。お互いに楽しい時間を過ごすことができたようで、とても良かったです。

2年生のみなさん、準備等、お疲れ様でした。



〇 ポジティブ教育、レジリエンス教育 ご存じですか？

ポジティブ教育とは、ポジティブ心理学を教育に応用したプログラムで、子供一人一人が持っている強みに焦点を当て、幸せで豊かな心を養い、何事もあきらめないたくましい子供を育てることを目的としたものです。その中で、大切なのが「レジリエンス(折れない心・逆境力)」という心理的能力を伸ばすことです。例えば、子供が失敗からすぐに立ち直り、苦手なことや難しいことに対して「無理!」と言わず、前を向いてどんどんチャレンジしていく強い心です。ご家庭でお勧めしたいのが、ポジティブ・ストロークです。ポジティブ・ストロークとは、相手の存在を認めるポジティブな行為です。例えば、子供に笑顔で「おはよう!」と朝食を迎える。学校から帰ってきたときに、ハグしながら「おかえり」と微笑む。このポジティブな言葉や態度で、子供の心の銀行にお金を貯めていくことができます。「どんなことがあっても私たちはあなたの味方」という安全基地になることが、親の使命とも言えるものです。